

平成30年3月12日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学

学長 吉岡 俊正

(公印省略)

## 耳鼻咽喉科学講座 教授・講座主任候補者の公募について

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、耳鼻咽喉科学講座の教授・講座主任を選考することといたしました。つきましては、貴学・貴施設ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。なお、選考にあたりましては、本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針であることを申し添えます。

謹 白

記

### 1. 公募の概要および選考方針

社会に貢献する女性医人を育成するという本学の建学の精神に則り、耳鼻咽喉科領域全般に造詣が深く、特に耳・鼻を中心に、耳鼻咽喉科に関する教育、研究、診療を推進できる方を公募いたします。本講座教授・講座主任には本学医学研究科大学院教授（耳鼻咽喉科学分野）と本院の耳鼻咽喉科診療部長を担当していただきます。

つきましては、次の資格要件を満たす方を公募いたします。

- (1) 医師免許を有する方
- (2) 博士（医学）の学位を有する方
- (3) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境を構築できる方
- (4) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有してチーム医療と医療安全を実施できる方
- (5) 耳鼻咽喉科領域全般に深い造詣を備えるだけでなく、卓越した手術技量を有する方
- (6) 研究業績として、査読付自著論文（\*）15編以上（以下のAまたはBを計4編以上含むこと、ただしAを1編以上含むこと）または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たすこと

A：英文研究論文（自著原著）とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。

B：英文研究論文（自著原著）で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセ

スが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙 (Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子 (DOI) の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(\* ) 自著論文とは、本人が **first author** または **equal contributor** になっている論文、または **corresponding author** として明記されている論文を指す。

(7) 医療安全に関して以下のAまたはBを満たす方 (応募の段階で基準を満たさない場合は、就任後、1年以内に満たせばよいこととします)。

A : 医療安全推進部において 24 日間以上実務者として勤務 (週 1 日で 6 ヶ月間等も可)

B : リスクマネージャー1年以上の経験

(8) 教育歴 (5年以上)、研究歴 (10年以上)、診療歴 (10年以上) を満たすこと。

(9) 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医および日本耳鼻咽喉科学会専門研修指導医の資格を有する方

## 2. 提出書類等

詳細は本紙4~5ページをご参照ください。

様式1~6については、本学ホームページ (HOME > 新着採用情報) からダウンロードしてください

<http://www.twmu.ac.jp/univ/>

- |                            |         |                    |
|----------------------------|---------|--------------------|
| (1) 履歴書 (様式1)              | 1部      | (補足資料も合わせてお送りください) |
| (2) 業績目録 (様式2)             | 1部      |                    |
| (3) 主要自著論文、別刷 10編          | 各1部     |                    |
| (4) 主要自著論文10編の説明 (様式3)     | 1部      |                    |
| (5) 研究資金等の取得状況 (様式4)       | 1部      |                    |
| (6) 診療実績 (様式5)             | 1部      | (補足資料も合わせてお送りください) |
| (7) 自己評価書                  | 1部      |                    |
| (8) 推薦者一覧                  | 1部      |                    |
| (9) 推薦書 (様式6) 厳封           | 推薦者3名まで |                    |
| (10) 電子ファイル保存媒体 (USBまたはCD) | 1式      |                    |

上記 (1) ~ (8) の電子ファイル ((3) は PDF ファイル、その他は Excel または Word ファイル) を保存した媒体。

## 3. 提出方法

(1) 上記の提出書類等を一括して送付してください。

(2) 封書等の表に「耳鼻咽喉科学講座 教授・講座主任 応募書類」と朱書きしてください。

(3) 提出は、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

4. 提出期限：平成 30年 5月 11日（金）必着

5. 提出先：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1  
東京女子医科大学 学長宛

6. 選考方法

- (1) 1次選考：書類審査
- (2) 2次選考：面接審査
- (3) 3次選考：公開講演審査
- (4) 最終選考：理事会審査

7. 問い合わせ先：東京女子医科大学 学務部医学部学務課  
電話 03-3353-8111（内線） 26070

8. 備考

- (1) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー（ホッチキス）等は使用しないでください。
- (2) 提出書類等一式は返却致しませんが、選考に関わる者以外に応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後当方にて責任を持って処分を致します。ただし、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれますことをご了承願います。
- (3) 選考過程において、手術動画を含む追加資料等の提出を求めることや、状況確認に所属施設に伺う場合があります。
- (4) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、日程および実施方法はご本人に連絡いたします。
- (5) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人に通知し、推薦者の方には通知いたしませんことをご承知おきください。

以上

## 提出書類の記載方法等について

### (1) 履歴書 (様式 1) (写真貼付)

別紙 (様式 1) に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会活動、賞罰に分けて記載してください (相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください)。

また、履歴書に記載した卒前、卒後、大学院教育について、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバスのコピーとその PDF を添付してください (過去 3 年分)。

### (2) 業績目録 (様式 2)

別紙 (様式 2-1、様式 2-2) に従い、Excel ファイル内の 2 つのシートに記載してください。

### (3) 主要自著論文、別刷 10 編

主要な自著論文 10 編をあげ、その 10 編の論文の別刷を各 1 部ずつ添付してください。

### (4) 主要自著論文 10 編の説明書 (様式 3)

別紙 (様式 3) に従い、各々の論文の独創的な点について 200 字以内で説明を記載してください。

### (5) 研究資金等の取得状況 (様式 4)

別紙 (様式 4) に従い、直近 10 年間に取得した研究資金を記載してください。

### (6) 診療実績 (様式 5)

別紙 (様式 5-1、様式 5-2) に従い、Excel ファイル内の 2 つのシートに、診療実績の参考とするために医療機関に保管登録された診療録に基づき外来診療および手術の状況について記載してください。

また、以下②～③の資料は紙媒体と電子ファイルの形式で、④の資料は紙媒体でお送りください。

①申請時より 2 年以内の応募者本人が執刀した手術の未編集動画一本 (コピープロテクトを付けずに PC で視聴できる形式で DVD (複数枚可) または USB に保存)。

②上記①の手術概要説明書 (A4 版 1～2 枚程度。書式自由)。

③2013 年 1 月～2017 年 12 月 (5 年間) で、応募者本人が執刀した代表的な手術 10 件について、その選択理由と手術記録 (患者氏名は消してください) と手術概要を記載した説明書 (各手術 A4 版 1 枚程度。書式自由)。

④2016 年 1 月～2017 年 12 月に応募者本人が執刀した手術症例の手術記録 (患者氏名

は消してください。③と重複しても構いません)。

#### (7) 自己評価書

教育、研究、診療、将来への抱負等、下記①～⑦の各々について自己評価書を具体的に記載してください (A4 版。書式自由。各 1～2 枚程度)。

- ①教育：講義、実習、少人数教育 (チュートリアルなど) の経験と、教育に対する考えについて記載してください。
- ②研究：主な研究分野とその業績、若手研究者の育成経験、今後の講座運営の展望と抱負を記載してください。
- ③診療：実績、専門領域、特殊技能などについて記載し、病院経営における患者数および手術数の増加などについて具体的に記載してください。
- ④医療安全：リスクマネージャー等の経験や医療安全講習会参加の状況を記載するとともに、安全な医療に関する考えを記載して下さい。
- ⑤組織マネジメント：主導的立場で経験した実例を記載してください。例えば、教室の運営、医局長や病棟長の経験、所属学会の委員会の委員長、社会活動における主導的立場など、種類を問いません。
- ⑥本学の建学精神、理念、女性医療者の教育・育成についてのお考えを記載して下さい。
- ⑦将来への抱負：ご自由にお書きください。

#### (8) 推薦者一覧

推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表 (A4 版。自由書式)。

#### (9) 推薦書 (3 名まで)

別紙 (様式 6) に従い、最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究、診療に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただけてください。推薦人の依頼先は国内外を問いませんが、提出期限に注意して依頼してください。推薦書は推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒に送りください。

-以上-